

事業名



人とひとを繋げる 対話の場を増やす活動

対話＝フィンランドのオープンダイアローグ
置きベン＝地域にベンチを置くプロジェクト

実施団体

対話之町京都 ヲ目指ス上京



7日

2023年4月7日金曜日 22:00～23:59

Tom・Andersen ひっそり研究会

オンラインイベント

[リンクにアクセス](#)



8日

2023年4月8日土曜日 18:00～21:00

うっかりトークサークル体験之場

Socca Co.,Ltd



2日

2023年4月2日日曜日 9:00～12:00

置きベンプロジェクト

Socca Co.,Ltd

リモートによる対話の参考図書の
会読会を43回開催しました。(金曜日夜)

置きベンにてリアルの対話会を
28回開催しました。(土曜夜)

置きベンを作るイベントを
27回開催しました。(日曜日午前中)

人とひとが繋がる場づくりとして、リモートによる会読会(読書会)と、
「置きベン」にて実際に対話を体験する機会作りと、かつての縁側、
井戸端会議など、人とひとがうっかりと繋がれる「装置」としての
ベンチ作りを通して、人とひとが繋がりがあえる「場」を設けました。

上京発「対話を通して地域を考える」活動へ

ベンチ置くだけプロジェクト

ベンチを置くだけで、地域がかわる。みんなが、みんなの、みんなのベンチ。

「ベンチがあんなに、うっわのなるの？」

「ベンチを置くだけで、地域がかわる。」

令和5年度 上京区民まちづくり活動支援事業
主催：対話之町京都プロジェクト上京
協力：障害者就業継続支援事業所 Nest Lab Kyoto

まちのベンチ 情報交流会

日時 令和5年9月30日(土) 午後2時～午後4時

会場 京都教育大学 共進講義棟F13講義室 (伏見区深草藤町1)

第一部：各団体の活動紹介 「わがまちのとりくみ」
置きベンチ【チーム上京】、対話之町京都プロジェクト上京
赤いベンチプロジェクト【大阪府城東区 関目地域活動協議会】
とまり木休場所【とまり木休場所実行委員会】
あでかけベンチ【深草・竹やすらぎの会】

第二部：ワークショップ 「みんなでベンチを語ろう！」

申込み 9月25日(月)まで 定員70名 多数の場合抽選

【申込み・問合せ】
事務局：伏見区深草石橋町18-1 高齢サポート・深草南部内
Tel: 075-641-9301 受付時間 月曜日～土曜日 9:00～17:00
主催：とまり木休場所・おでかベンチ協働プロジェクト実行委員会
共催：伏見区地域支え合い活動創出コーディネーター、
チーム上京！、対話之町京都プロジェクト上京、関目地域活動協議会
後援：京都市伏見区役所深草支所

KAMIGYO 上京 MACHIZUKURI

対話之文化まつり 2023

No Fee 出展/入場 無料

「緑食論」藤原辰史と「その鳥のひとはち、ひとの話をきかない」森川すいめいと「置きベン」小畑あきらによる来場者参加型の対話イベント。

12/13 第1部 13:00-16:00 まちづくりポスター展
第2部 17:00-20:00 チキってなに？展

会場：西陣織会館 4階展示場
〒602-8216 京都市上京区堀川通今出川南入西側
・地下鉄烏丸線「今出川」駅下車 徒歩約10分
・市バス「堀川今出川」下車 徒歩1～2分

参加費：無料 (参加希望の方は当日連絡会場へお越し下さい)
【主催】対話之町京都プロジェクト上京 office@studioit.co.jp

KAMIGYO 上京 MACHIZUKURI

対話之文化まつり 2024

No Fee 参加/入場 無料

奈良少年刑務所における受刑者との対話実践者・作家の寮美千子氏と「置きベン」小畑あきらによる来場者参加型の対話イベント。

2/10 SAT 14:00-16:00 トークンサークル体験会
【第1部】17:00-18:00 寮美千子氏の講演と対話
【第2部】18:00-20:00 皆さんと大団対話会

会場：京都市男女共同参画センター ウィングス京都 2F・セミナー室B
〒604-8147 京都市中京区東洞院通六町下る関町1町 252番地
・地下鉄烏丸線「烏丸」駅(20番出口) 下車徒歩約5分
・市バス「東洞院」下車徒歩約5分
参加費：無料 (当日定員50名、当日14時から整理券配布)

9月には伏見区の地域圏域ケア会議へ招かれ上京での活動を紹介させて頂き、傾斜地伏見での高齢化に於ける「歩き継ぎ」としてのベンチを学びました。他区に加え高槻北部や、京丹波町でのベンチ活動にも繋がる事になりました。

12月には京大准教授藤原辰史氏・精神科医の森川すいめい氏を上京に招き、皆さんとリアルな「対話の場」を開催し沢山の来場者の声が聞かれました。追加イベントとして2月に作家の寮美千子氏を招いて対話会を開催しました。

毎日新聞 京都 2023/12/30(土)

「置きベン」お座りやす

地域憩いの縁側設置広がる

上京・小畑さん 廃材活用し手作り

京都市内の道沿いの所々に置かれた手作りのベンチ。廃材やビールケースなどを活用し、きれいに磨かれた座面には「置きベン」の印がある。誰もが自由に腰掛けられるベンチを設置して地域に憩いの場を増やそうと、市内の男性が始めた活動だ。共感者が増え、じわじわと設置の輪が広がっている。

取り組みは、カメラマンの小畑あきらさん(60)＝上京区。コミュニティFM・京都三条ラジオカフェのパーソナリティや「対話の町」を自指す市民団体の代表も務めており、2021年9月に

京都市内の道沿いの所々に置かれた手作りのベンチ。廃材やビールケースなどを活用し、きれいに磨かれた座面には「置きベン」の印がある。誰もが自由に腰掛けられるベンチを設置して地域に憩いの場を増やそうと、市内の男性が始めた活動だ。共感者が増え、じわじわと設置の輪が広がっている。

取り組みは、カメラマンの小畑あきらさん(60)＝上京区。コミュニティFM・京都三条ラジオカフェのパーソナリティや「対話の町」を自指す市民団体の代表も務めており、2021年9月に

N: ナラティブとケア 第15号

Agency Journal of Narrative and Care No.15

「森川すいめい「オープンダイアローグの世界へようこそ」
井原真一「オープンダイアローグにいたる道とヒューマンライツ」
村上純一「オープンダイアローグと社会イノベーション」
大井雄一「心の安全衛生」
矢野龍行「ことばのなかで聞く」
国重浩一「ナラティブ・セラピーとオープンダイアローグ」
柴田重美「子どものアドボカシー活動とダイアローグ」
小畑あきら「オープンダイアローグとトラウマインフォームドケア」
高口直美「子どもを中心にしたダイアローグ実践とまなざしの変化、そしてこれから」
下平美智代「経験専門家のピアサポートとオープンダイアローグ」
奥田智子「れもんハウスで生まれる「対話」のようなもの」
樋口直美「認知症のある人にとってオープンダイアローグ」
小畑あきら「オープンダイアローグで開かれる地域」
志村孝重「ダイアローグ・イン・ザ・ワーク」

森川すいめい・編 内田麻生
「座談会①自然歩道地域のウチとソト」
森川すいめい・辻井弘美・橋山真貴・白根菜子
「座談会②家族療法とナラティブ・セラピーとオープンダイアローグ」

森川すいめい編 オープンダイアローグの可能性をひらく

現在発売中の学術雑誌「ナラティブとケア第15号」へ「オープンダイアローグで開かれる地域」と題して、上京区での取り組みを寄稿。「地域とは何か」を問う。

地域移行、地域共生社会の実現、生涯地域居住など、地域という言葉がよく使われるようになった今こそ、改めて「地域とは何か」を引き続き皆さんと対話を通して共に考えて参りたいと思います。

人とひとがうっかり繋がれる「場」としての「置きベン」は「京のコシカケ・置きベン」と称し、今後は上京発として京都へ、全国へ広めて参ります。

毎日新聞社さま・リビング京都さまに取材して頂きました。